

当院予防センターで受診された方の余剰検体を対象とした新型コロナウイルス

抗体に関する研究

(研究課題名：健診受診者を対象とした抗 SARS-Cov-2 抗体の詳細な解析)

1. 研究の対象

2015年10月5日～2022年3月31日までに当院の予防医療センターで受診され「健診後の余剰検体保存と研究利用」に検体を提供する事に同意された方を対象とします。

2. 研究の目的・方法

現在、2019年より続いている新型コロナウイルス感染症を対象として様々な研究が進められています。今回の研究では、上記「1.研究の対象」に該当する対象の方の血液の中にある新型コロナウイルスに対する抗体を測定します。これにより新型コロナウイルスが初めて見つかった時期～感染が広まっていった時期の市中感染の状況を検討することが本研究の目的です。

抗体とは、健康な体の中に入ってきた異物（今回の場合は新型コロナウイルス）が入った時にそれに特異的に反応した結果として体の中で作られるたんぱく質の一種のことです。この抗体をその量に応じて蛍光発色が強くなるような特別な方法を用いて測定することで、目的とする異物への曝露（この場合は感染）の有無などの様々な情報を得ることができます。

なお、この研究では診療録（カルテ）に記載された内容と既に保管されている検体を使用するため、この研究のための追加の医療行為は行われません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、CT 検査診断・所見 等

《試料》 「健診後の余剰検体保存と研究利用」に同意され方の凍結保存されている血清検体。

4. 外部への試料・情報の提供

外部への発表でデータを使用する場合は、個人情報と結びつかないように匿名化された形で使用します。匿名化した ID と個人情報の突合表や本研究のデータは研究責任者が責任をもって保管・管理します。

5. 研究責任者の所属： 聖路加国際大学 研究センター バイオバンク室

(共同研究者の所属：附属クリニック 予防医療センター 一般内科、聖路加国際病院 放射線科)

(2022/7/1 作成)